

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)3月6日
所属名:東近江農産普及課東部
番号:D24025
発信者名:軸屋



気候変動に負けない！JAにしみの海津胡瓜部会への視察研修を開催！

JAグリーン近江八日市共販胡瓜部会を対象に、キュウリの安定生産を目指して、2月25日に岐阜県西濃農林事務所農業普及課と連携し、JAにしみの海津胡瓜部会への視察研修を開催しました。部会員3名のハウスを視察後、近年の高温対策や病害虫対策等の情報交換を行いました。

近年の気候変動により、異常高温や病害虫の多発生等が起こる中で、キュウリの生育や収穫時期が不安定になっています。そこで、今後の対策を検討するため、八日市共販胡瓜部会と同じ半促成・抑制で栽培されているJAにしみの海津胡瓜部会を視察し、部会間で情報交換をしました。

海津胡瓜部会でも高温や病害虫(特に虫媒ウイルス病)の発生が問題となっており、「省力化」を念頭に置きつつ対策を取られていました。高温対策ではドローンによる遮熱塗布材の散布、病害虫対策では、2種類のカブリダニの放飼、LED捕虫器の設置を実施されていました。

部会員は遮光塗布材や捕虫器の価格、天敵放飼時に使用している薬剤の種類等を積極的に質問し、新たな取り組みに向けた部会員の意識の高まりが感じられました。

当課では引き続き、部会と共に気候変動に負けない省力安定生産に向けて、新たな技術導入を支援していきます。



視察先普及課から部会概要説明



ハウス視察・情報交換